

6月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 69号

2022年7月28日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



特集 図書館司書に聴く 2~5

議員討論会 アフターコロナを見据え徹底討論 22~23

議員と語る会 町民の声を町政に 24~25

図書館に来てね

特集 図書館司書に聴く ～図書館の今とこれから～



皆さんは図書館を利用しますか？

近年では、ツタヤ図書館が全国で話題となるなど、各地で新しいかたちの図書館が生まれており、日常的に人が集まることから、図書館がまちづくりの中心的な拠点になる事例も増えてきました。

一方で、全国的に図書館の貸し出し冊数が低迷する中、大山町においても図書館の貸出利用者数は、過去10年でみると年々減少傾向にあります。(直近の令和3年度の利用者数は回復)

現状、大山町の図書館はどのような人たちに利用されているのでしょうか。また、今後の図書館のあり方はどうなるのでしょうか。現場をよく知る司書の皆さんにお話しを聴いてきました。

◆司書のお仕事

議員…まずは司書の仕事内容について教えてください。

細谷…皆さんがイメージされるカウンター業務のほかに、館内の清掃、返却本の処理、ネット予約の管理、学校や団体への貸出し管理、イベントの企画、備品の発注、テーマ展示の資料集め、統計調査作業、選書作業、本の購入・受け入れ、大山町に関する記事の切り抜きなど、いろいろな仕事があります。

米澤…保育所から要望があれば、お話し会も開催しています。

永井…本の傷みのチェックや消毒は一冊一冊しますし、本の入れ替えのときは力仕事も多いです。本の管理規則も多く大変なのですが、町民の皆さんには忙しさをうまく伝えられていないと思います。



◆選書会議

議員…図書館の本はどのように選ばれていますか？

細谷…毎週金曜日に、本館と分館の司書が集まって、購入する本を決める選書会議を行っています。新刊案内のカタログをもとに、各館でリストアップしてすり合わせをします。困るのは話題の本を購入するときです。有名作家の小説は、新刊が出るごとに予約が10件以上入るくらい人気があります。このような本はどの館でも欲しいのですが、町の予算も限られているので、そのあたりの調整は大変です。

議員…ベストセラー本は取り合いになるわけですね。本を選ぶ際の基準はありますか？

永井…司書の個人的な好みで選ばないように気をつけています。町民の皆さんからのリクエストを参考にすることももちろん、類似の本がないかどうか、作家や出版社のバランスなど、総合的に考慮して選びます。購入を迷う場合は、県立図書館から借りて、読んでから決めます。

議員…大山町の図書館にはどんな本が多いですか？

細谷…小説、子育て、料理、家庭菜園などは、特に要望が多いジャンルなので充実しています。

議員…今後、増やしていきたい本はありますか？

細谷…ITやプログラミング関係の本を集めているのですが、司書もこの分野に詳しい訳ではないので、町民の皆さんからのレベルの本が求められているか、判断がとて難しいです。要望があればぜひ聞かせてほしいです。

◆利用者層

議員…利用者のニーズの話が出てきましたが、大山町の図書館はどのような人たちが利用していますか？

永井…やはり土日の利用者が多いです。時間帯だと10時～11時と16時～17時です。主に高齢者と子育て世帯です。平日の夕方は、保育園帰りの親子や小学生の利用が多いです。課題は、高校生から20代の若い世代の利用が少ないことです。

佐山…分館も基本的には同じですが、分館は夜10時まで開いていますので、夜のサークル活動のついでに利用する人や、働いている世代も平日夜に利用します。ただ夜の利用はそこまで多くなく、来訪者ゼロの日もあります。

議員…若い世代の利用が少ないことが課題とのことですが、なにか工夫をされていますか？

永井…本館では、リカレントといって、社会人の学び直しをテーマにしたコーナーを特設しています。



リカレントコーナーを特設

職業の紹介や起業、スキルアップに関する本を充実させています。現役世代の若い人たちに興味をもってもらいたいです。

議員…利用者からの要望はどんなものがありますか？

永井…キッズコーナーや飲食ができるスペースがほしいと言われます。

高見…名和分館で、子どものおむつ替えコーナーがほしいと言われたことがあります。



レファレンス(調べもの補助)を強化しました

◆図書館の今後

議員：今後の図書館のあり方はどのように変わっていくのか。

細谷：今の図書館はスペースに限りがありますが、「キナルなんぶ」のような大きな複合施設だと、勉強スペースや、カフェなどの飲食スペースのある滞在型の図書館にできると思います。

大山地区では子育て世帯が特に増えていますが、図書館は静かにするところというイメージも強いので、子連れではなかなか利用しづらいと思われている人も多いと思います。子どもたちがのびのび気兼ねなく利用できる場所でもあってほしいです。大きな施設であればそれができると思います。

議員：施設が大きければ、エリアでわかることもできますね。

永井：全国では図書館のかたちが変わってきています。先進的な図書館を表彰する「ライブラリーオブザイヤー」の事例をみると、貸出しをしない閲覧だけの図書館、海士町

世界の図書館の事例

World Library Cases

ヘルシンキ中央図書館 Oodi (フィンランド)

国際図書館連盟 (IFLA) 主催「2019 Public Library of the Year Award」受賞

フィンランド独立100周年を祝うプロジェクトの一つとして建設され2018年12月5日に開館しました。複合施設の代表的事例で施設内にカフェ、映画館、クッキングスタジオ、レコーディング室などもあり、デジタル時代の図書館として、貧富に関係なく誰でもデジタル文化を学び体験できる空間になっています。



車いすでもストレスなく本を探せる
写真：Jonna Pennanen



親子でのびのびと過ごせる空間
写真：Risto Rimppe



3Dプリンタが使用できる作業スペース
写真：Tuomas Uusheimo



VR機器やゲームの貸出も
写真：Jonna Pennanen

オーフス市立図書館 DOKK1 (デンマーク)

国際図書館連盟 (IFLA) 主催「2016 Public Library of the Year Award」受賞

13年間にわたって住民との丁寧な意見交換を経てつくられた、北欧最大級の複合施設型の図書館です。「オープン・ライブラリー」といって、夜間など職員のいない時間でも利用できるように、個人IDカードで入館できる仕組みを導入して利便性を高めています。

町民の声



磯崎剛大さん (40歳)

わたしの学生時代は雨の日など一日中図書館で勉強したり、本を読んでいた。大山町の図書館は、ただ「本を借りられる場所」という印象で、落ち着けるスペースが少ないのであまり利用していません。南部町の「キナルなんぶ」には子どもを連れてよく行っています。将来、新しくつくるなら、大山町の歴史や自然の展示なども併設して、町外からも訪れてみたいと思われるようなものにしたいです。

の「島まるごと図書館」、ショッピングモール併設の図書館や、お酒を飲んでも良い図書館、子育て支援センターと合体した図書館など、いろいろな図書館ができています。大山町で図書館をつくる際には、広く町民の意見を募って、楽しい図書館ができるとういなと思います。

議員：とてもいいですね。本日はありがとうございます。

司書さんおすすめの企画

- ・「図書巡回車」実は、通常の貸出しよりも長く借りられるんです (高見)
- ・「おはなし会」8月はこわいお話し会をします (米澤)
- ・「おとなライブラリー」本を自分で出版する方法もお伝えしています (佐山)
- ・「図書館さんぽ」子どもたちが図書館へ散歩をして本に親しみます (細谷)
- ・「よしみスタンプラリー」本を借りるとスタンプが集まって特典がもらえます (橋井)
- ・「インターネット予約」登録して利用すると県立図書館の本も借りられます (永井)

司書全員からのおすすめ!

「よんだくん通帳」

図書館では、利用者カードをお持ちの方へ、借りた本を記帳機で印字して記録できる「よんだくん通帳」を無料でお渡ししています。

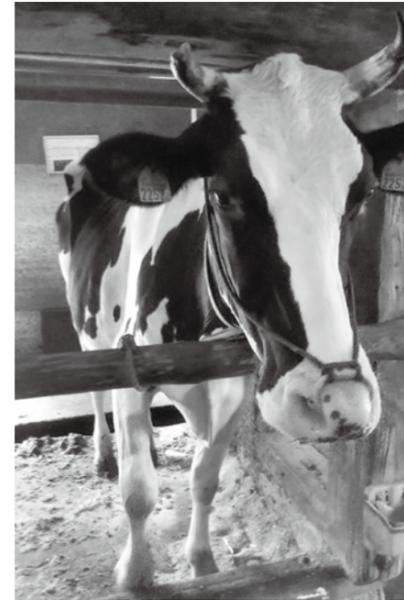
読書記録を残すことで、自己の読書記録を管理できることはもちろん、読書を通して家族とふれあう、思い出に残るなど、よりいっそう読書を楽しむことができます。

本を読んで、読書の思い出を記録しませんか?



生活支援、経済対策などに 3億円超の追加予算

6月定例会を6月6日から21日までの会期で開催しました。
一般会計補正予算では新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、原油高や物価高騰の影響もあることから、生活支援や経済対策などに3億2860万円を追加する予算を可決しました。
一般会計補正予算のうち、新たに提案された「海の観光拠点整備事業」について、実施プロセスに問題があるとして、議員発議で基本計画作成業務委託料990万円を含む999万6千円を減額する修正案が提出されましたが、修正案は賛成少数で否決されました。



酪農家に緊急支援

補正予算の主な内容

- **住環境整備支援事業 ▶ 2041万円**
町内業者と契約し住環境を整備した町民に15%（上限20万円）のお買物券を交付。
- **臨時特別給付金事業 ▶ 2994万円**
住民税非課税世帯などに現金10万円を支給。ただし、令和3年度に支給済みの世帯は対象外で、新たに非課税世帯になった場合などが対象。
- **エアコン等光熱費助成事業 ▶ 1321万円**
住民税非課税世帯に対して、電気・ガスなどの光熱費高騰対策として現金7千円を支給。
- **海の観光拠点整備事業 ▶ 999万円**
海側観光の拠点であり大山寺エリアとの観光交流軸を構築する拠点となる施設整備に向けて、町内業者などと検討を行う。（詳細は8ページ）
- **畜産経営緊急救済事業補助金 ▶ 5695万円**
飼料価格、資材・燃料代が高騰しており、酪農家に緊急的に支援を行う。

チェック します 6月定例会

議案の 質疑

児童館

【門脇議員】児童館の児童厚生員の現状、育成計画は。
【福祉介護課長】現在3カ所



安定した運営が求められる児童館

の児童館に2人ずついる。児童厚生員の有資格者が不在だと児童館を開館できないので、余裕をもった勤務シフトにするため、各館1人ずつ有資格者を確保していきたい。

中学校の部活

【大杖議員】部活指導について、国の方針として、今後は民間委託という考えも出ているが本町での対応は。
【教育次長】現時点で民間委託は難しいが、スポーツ少年団や公民館サークルでの受け入れなどできるところから少しずつ進めたい。

農産物処理加工所

【池田議員】逢坂加工所で新規の営業許可の見通しは。
【企画課長】密封包装食品製造業の許可を申請する。取得は8月末頃になる。

淀江IC跡地利用

【西本議員】基本構想策定業務委託料330万円の目的や必要性は。
【観光課長】好立地だが、現在利用されていない土地なので、観光拠点として活用できないか検討していきたい。

観光地域づくり

【小谷議員】山陰インバウンド機構などDMO（観光地域づくり法人）がすでにあるのに、本町単独で同じことをする必要性は。
【観光課長】町全体の観光をマネジメントする組織として必要である。

海の観光拠点

【吉原議員】海の拠点と大山寺エリアとの観光交流の具性は。
【観光課長】海から山までコンパクトに味わうことができる地理的特徴を生かし、相互に送客を期待できる拠点として観光振興につなげる。
【島田議員】基本計画検討委員に商工会からの人選はあるか。
【観光課長】商工業者の協力も必要なので考慮していきたい。



御来屋漁港を町内周遊観光の拠点に

海の観光拠点で 修正案は僅差で否決

一般会計補正予算

●修正案の概要

海の観光拠点整備事業の基本計画作成業務委託料990万円など、999万6千円を減額するもの。

●提出者

小谷議員
西本議員
豊議員

●提案理由

【小谷議員】海の拠点整備には賛成だが、計画づくりを外部に丸投げするのはもったいない。不慣れでも町職員が徹底的に町民の意見を聞き、考え抜いて独自に作るべき。

原案に賛成 8人

【門脇議員】所管する経済建設常任委員会から、特段の疑義があるとの報告は聞いていない。所管委員会の審査を信頼し、予算修正は必要ないと考える。

【池田議員】経済建設常任委員会の（大杖）委員長、（豊）副委員長は、修正案に賛成するなら、委員会ですっかり問うべきだ。

【森本議員】990万円を皆減した後、計画がどのように動き出すか、修正案からは読み取れない。

傍聴しました

「初めて議会を傍聴しました。迫力があって面白かったです。」
大野木幸太さん（高橋）

討 VS 論

修正案に賛成 7人

【大杖議員】施策を立案・検討・実行に移すプロセスに疑問がある。まずは地元住民がもっと協議、議論するべき。住民の声が形になることで、活性化につながる。

【豊議員】プロセスに町民、町職員が見えない。山の駅（大山参道市場）も同じようなプロセスを踏んで整備したが問題が多い。一度待ったをかけるべき。

【西本議員】海の拠点には賛成だが、作ることが先行していて、1千万円かけて作る計画として説明が不足している。

【近藤議員】具体的にどういう施設にすべきか、もう少し内容をつめてからやるべき。



議論になった 海の観光拠点整備事業

御来屋漁港に観光的な要素を付加
規模:未定
令和4年度事業概要
基本計画作成業務委託料 990万円
※ 検討委員会への参考資料作成
※ 整備方針の整理検討
※ モデルプラン作成
検討委員会謝礼金(4回分) 9.6万円

観光発展に寄与する拠点整備となるか

Pick up 「森のようちえん」の 子どもにも支援を

町民の声が形に



自然体験が主体の保育

「自然保育を行う園（通称・森のようちえん）に子どもを通わせている保護者から、保育料軽減の陳情があり、賛成多数で採択しました。」

鳥取県では、子育て王国とつとりの事業として、一定の基準を満たした森のようちえんの運営を支援しています。また、森のようちえんが所在する市町村では、森のようちえんに通

う児童へ補助制度を設けています。

本町では、子育て世帯への経済的負担軽減のため、今年度から2歳児の保育料を無償化しています。森のようちえんはこの対象になっていませんでした。

今後大山町議会は、陳情採択を踏まえ、森のようちえんを利用する家庭にも一定の助成をするよう町行政に求めていきます。



陳情の取り扱いをめぐり

議長への問責 決議案は否決



町民の声の行方は

賛成討論

【近藤議員】議会基本条例で、町民に開かれ協働する議会を実現するとしている。そのことを議長は思い起こすべき。

【豊議員】町民の声をルールに従って審議するのが議会だ。

【小谷議員】エレベーターに限らず、バリアフリーの検討をしてほしいという陳情なので、議長が退けるのではなく、しっかりと検討するべきだ。

反対討論

【杉谷議員】名和公民館は老朽化が進み、そう遠くないうちに建て替えが必要になる。議長は利用者の利便性、利用方法も考えていて、私は納得している。

【門脇議員】実現性がないとの判断は著しく不適切とは言えない。議会運営委員会も了承している。

町民から提出された「名和公民館のバリアフリー対策を求める要望書」を、米本議長が陳情として所管の委員会に付託せず資料配布の扱いにしたことについて、西本議員ほか3人の議員から「米本隆記議長に対する問責決議案」が提出されましたが、採決の結果、賛成少数（5人）で否決されました。

提案理由

【西本議員】町民の陳情書を不適切に扱ったことは、町議会基本条例の精神に反しており、議会の信頼を著しく損なった。

常任委員会の活動

総務 常任委員会

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

税金のスマホ決済

令和3年度から始まったが利用状況は、件数としては747件で、支払い者全体の1%程度が利用している。コンビニでも24時間納付ができるが、納付期限を過ぎると対応ができなくなる。

税務課

自宅の修繕などに助成



庭木の剪定なども対象

令和3年度に助成を受けた人も対象か。また上限額、開始時期は、対象である。令和3年度と制度内容は大筋同じで、支払い金額の15%がお買い物券で返ってくる。時期は8月頃からを予定している。

企画課

マッチング事業の説明を受ける



まぶやにある移住交流サテライトセンター

6月8日、9日、13日の3日間、所管する各課から事業の説明を受け、審査した。

6月10日には大雨被害の防止につながる上市水路、町内の再生可能エネルギーの実例として羽田井小水力発電の現地視察を行った。

また、移住交流サテライトセンター(まぶや)では担当者に説明を聞き、現在の空き家対策の現状も確認した。

地域おこし協力隊

新規募集は何人が。また、募集分野は何か。募集は2人、空き家対策と情報発信を行う協力隊を募集の予定である。あまり業務を限定せず、応募者に企画提案してもらう予定である。

企画課

御来屋駅トイレの新築

進捗状況と、どのようなトイレで完成予定は。トイレをバリアフリー対応にする。令和4年12月に完成予定で、工事期間は4カ月程度を予定している。

財務課

放送施設整備の補助

集落放送を無線にする際にも使えるのか。利用可能である。集落の放送を全て変える必要があり、補助があったとしてもかなりの費用負担がかかると思われる。

総務課

6月定例会で審査した主な陳情

全ての請願・陳情の結果はこちら



題名	提出者	委員会の意見	本会議採決結果
地方財政の充実・強化を求める陳情	大山町御来屋 大山町職員労働組合 執行委員長 角田拓朗 (他1名)	(総務常任委員会) 陳情事項は納得できる部分もあるが、本町にとって不利益な事項も含まれており採択することはできない。 不採択3棄権1となり不採択とすべきものと決した。	不採択
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情	米子市米原 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 田中繁 (他1名)	(教育民生常任委員会) きめ細かい教育環境のためには必要である。 全会一致で採択すべきものと決した。	採択
西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情	大山町西坪 西部広域大型ごみ処理施設を考える会 山下昭治 (他3名)	(教育民生常任委員会) 一般廃棄物処理に係る法律の動向に合わせ、西部広域行政管理組合で議論されるべきものである。 全会一致で不採択すべきものと決した。	不採択
「とっとり森・里山等自然保育認証制度」に関する陳情書	大山町下市 朝倉静林	(教育民生常任委員会) 保育環境においても多様なニーズに対応することは意義のあることである。 採択4、不採択1で採択すべきものと決した。	採択

賛否が分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留



審議結果はこちら

議案番号	議案	結果	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大枝正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明
第61号	令和4年度大山町一般会計補正予算(第3号)【修正案】海の拠点事業に対して	修正案否決(賛成7人)	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×
	令和4年度大山町一般会計補正予算(第3号)【原案】	原案可決(賛成8人)	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
請願第1号	日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出を求める請願	不採択(賛成2人)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
陳情第2号	消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情	不採択(賛成2人)	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
陳情第5号	地方財政の充実・強化を求める陳情	不採択(賛成4人)	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×
陳情第4号	西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情	不採択(賛成1人)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
陳情第6号	「とっとり森・里山等自然保育認証制度」に関する陳情書	採択(賛成14人)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
決議第2号	米本隆記議長に対する問責決議について	原案否決(賛成5人)	○	○	○	×	×	×	×	-	×	○	×	○	×	×	×

※決議第2号については米本隆記議長が除斥となり、代わりに大原広巳副議長が議長の職を務めることとなったため、採決に加わっておりません。

○その他の全会一致で可決した議案

6月定例会…… 条例(1件)、補正予算(7件)、諮問(1件)、陳情(1件)、発議(2件)
議案の議決は、米本隆記議長を除く15人で行います。

経済建設 常任委員会

名和公園整備

- ◎今後の改修スケジュールは。
- ▲8月中旬に工事の発注、10月以降の着工で年度内の完成を考えている。

建設課

新たな計画

- ◎淀江IC跡地活用事業と、御来屋の海の拠点整備検討との予算の違いは。
- ▲淀江IC跡地は構想計画を、御来屋は具体的拠点整備から実施計画まで作成する。

観光課

農地の利用集積

- ◎利用集積面積は県下でも上位に位置しているが、担い手は増えているのか。
- ▲面積は上位に位置しているが、担い手数は伸び悩みがある。

農業委員会

県の残土置き場として利用されている跡地



大山町安原地番の淀江IC跡地

6月8日、9日、10日、13日の4日間、所管する各課から補正予算ほか事業の説明を受けた。13日には、補正予算が計上されている淀江IC跡地を視察した。そのほかコロナ禍で利用が伸びた夕陽の丘神田山香荘のキャンプ場や人工芝のサッカーグラウンド、待合室に観光ポスターが掲示された大山口駅舎を確認した。

人・農地プラン

- ◎人・農地プランが「地域計画」として法制化されるが詳細は。
- ▲中山間地等直接支払制度で令和4年度末までに集落戦略を作成しないと10割単価が維持されなくなる。



早期の対応がのぞまれる

農林水産課

リモートセンシング

- ◎県内でも先進的な取り組みとなるリモートセンシング（航空測量）の必要性は。
- ▲山間部など現地に行かずに確認が可能になる。また導入により地籍調査の進捗がはかれる。

地籍調査課

教育民生 常任委員会

ゴミ出し支援

- ◎ゴミ容器70個分が増額計上されているが、対象者の把握状況は。
- ▲当初予算では30個分計上していた。対象を100人と想定し、70個分を追加購入する。今後、状況にあわせ適切に対応する。

住民課

有事に対する備え

- ◎新たに整備する備蓄倉庫の用途は。
- ▲段ボールベッドやテント、毛布、水や感染症対策のアルコールなどの備品である。水防倉庫にある備品も可能なものは移動したいと考えている。

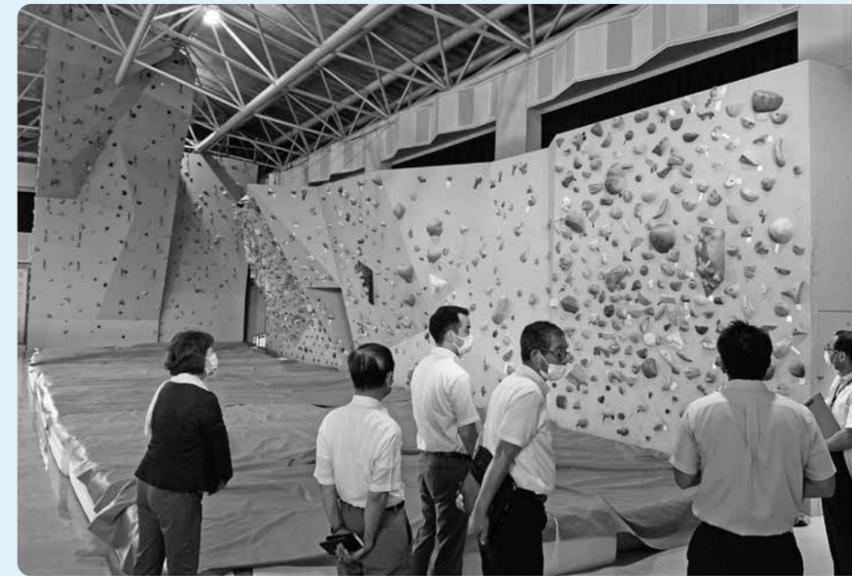
福祉介護課

中山小学校トイレ

- ◎中山小学校のトイレ修繕の詳細は。
- ▲トイレの配管詰まりで便器自体を交換することになった。交換にあわせて洋式に取り換えるものである。

幼児・学校教育課

リニューアル後のクライミングウォール



名和農業者トレーニングセンター

6月8日、9日、10日、13日、14日の5日間、所管する各課から事業の説明を受け審査した。13日はクライミングウォール利用状況や、名和陸上競技場の芝生管理の現状を確認した。増設される中高ふれあいセンターの駐車場予定地と中高児童館の運営状況などの視察を行い、現状と今後の対応や課題などを確認した。

陸上競技場備品

- ◎名和陸上競技場の備品処分はどのように行われるか。
- ▲備品台帳から外し、払い下げなど適切に処分する。また方法は、今後検討する。

社会教育課

呼吸器借上

- ◎大山口診療所で治療に利用されている持続的陽圧呼吸器とは、どのような装置か。
- ▲睡眠時に無呼吸の症状がある人や、いびきがひどい人などがスムーズな呼吸ができるようにする医療機器である。

健康対策課

放課後児童クラブ

- ◎大山西放課後児童クラブについて、工事延長の可能性があるとのことだが、夏休み中の子どもたちの利用の安全性は。
- ▲安全面に支障がないよう使用する。

こども課

14人が町長・教育長に一般質問を行いました。

あなたの声を町政に

◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
15	1. 人気スポットの仁王堂公園のリニューアルについて	杉谷 洋一
	1. スポーツ振興で健康で元気な町に	大杖 正彦
16	1. 持続発展的な暮らしやすいまちづくりについて	森本 貴之
	1. 空き家登録の現状は 2. スクールバス運行について	池田 幸恵
17	1. アフターコロナのインバウンド対応について 2. 学習指導要領に示されている「生きる力」の学習について	門脇 輝明
	1. ごみ処理の基本的なあり方を問う 2. 通学定期券補助の拡充を	大森 正治
18	1. 空き家の問題は解決するのか 2. 大山町の防災対策は	西本 憲人 吉原美智恵
	1. 芝の生産振興について 2. 海水浴環境の整備について 3. 窓口業務のあり方について	近藤 大介
19	1. 婚活支援について	島田 一恵
	1. 有機農地の先進的な取り組みについて 2. 本町の食糧不足など災害への備えは	豊 哲也
20	1. 小・中学校教育の向上は 2. 高齢者福祉の一層の向上や支援の拡充を	岡田 聡
	1. 防災対策について 2. 燃料高・肥料高について	大原 広巳
21	1. 海の拠点整備について	小谷 英介

一般質問席

人気の仁王堂公園の リニューアルは

町長 財源確保など 含めて検討したい



杉谷洋一 議員



- 【杉谷】公園のシンボルであるカラス天狗像の塗り替えは。
- 【町長】財源確保を含め対応したい。
- 【杉谷】ザイルクライミング遊具の設置は。
- 【町長】遊具の更新時には検討したい。
- 【杉谷】休日は満車になる駐車場の拡張は。
- 【町長】財源確保を含め検討したい。
- 【杉谷】サイクリング時でも利用できるように、駐車場にトイレ休憩施設設置の設置は。
- 【町長】浄化槽へのポンプアップ処理は現実に困難である。
- 【杉谷】展望台の看板更新や喪失した樹木表示プレートの設置は。
- 【町長】案内板も含め検討し対応したい。
- 【杉谷】園内を周遊するための日本海側に第一展望台の設置は。
- 【町長】転落防止柵も含め簡易的な展望台の設置を検討したい。
- 【杉谷】トイレ北側の古墳の整備は。
- 【町長】適切な保存に努めたい。
- 【杉谷】仁王堂公園の観光ルートとしての位置づけは。
- 【町長】地元の人や観光客に喜ばれる整備を行いたい。



大山の守護神カラス天狗像

スポーツ振興審議会 条例の制定を

教育長 策定委員会の 設置を検討したい



大杖正彦 議員



- 【大杖】スポーツ振興の力で、健康で元気な町づくりをするべきだ。住民のニーズに合った新しいスポーツ審議会条例を制定し、小・中・高校生と一般の人がとも活動する総合型地域スポーツクラブを設立しないか。
- 【教育長】新しいスポーツ審議会条例の制定については、必要に応じて審議会またはそれに代わる策定委員会などの設置を検討したい。
- 【町長】「新たな総合型地域スポーツクラブを立ち上げたい」という声があれば、活動ができるような形で、立ち上げなども検討していきたい。
- 【大杖】県事業が実施している「県ジュニアアスリート」候補に選ばれ2028年ロサンゼルスオリンピックに、本町出身の代表選手を送るためにも必要な事業だ。
- 【教育長】東京オリンピックを見て、ピックを見ても今までなじみのなかったスポーツで、日本の選手も活躍している。総合型地域スポーツクラブで、子どもたちがいろんなスポーツに親しむ環境は大変重要だと思う。



夢はオリンピック日本代表選手

▶ 動画はQRコードからどうぞ

開発事業計画を 策定するべきでは

町長 検討を進める



【森本】宅地や賃貸住宅の安定的な供給をはかることは、人口減少対策にとって重要なテーマではないか。
例えば、宅地および賃貸住宅等開発事業計画を策定するべきではないか。

方式で事業検討を行っている。
【森本】開発を進める上であぜ草刈りの騒音や耕運時の粉塵などの苦情は起きていないか。
町長の考えは。

【森本】農業が基幹産業である本町として、いかに農業とともに暮らしやすいかを実現させて行くのか。
【町長】行政がしっかりとクッション役になりたい。が年に数回ある。

【町長】事業計画を策定することにより、農地転用や民間開発が促進されると思うので、検討を進める。
【森本】PFI手法の推進は重要ではないか。プロジェクトチームを立ち上げるなど、具体的な動きはあるか。
【町長】関係各課横断でのプロジェクト会議



計画性ある住宅環境整備を

スクールバスの 運行について

教育長 納得できる
運行経路に努めたい



【池田】スクールバス運行経路は、どのように決められているのか。
【教育長】教育委員会事務局が決定している。
【池田】急遽バスが来ない、バスを利用しない時など緊急時の連絡方法は。

【池田】中山間地などは、降車後大いに関係してくる。
関係者・利用者で、運行経路や緊急時の連絡手段など、納得できる意見交換の場が必要だ。
【教育長】納得できるように努めたい。

【教育長】まちごみメルや電話連絡で行っているが、うまく機能しないケースもある。
【池田】保護者からの安全点検による危険箇所チェックは、経路に反映されているのか。
【教育長】徒歩や自転車通学にかかる報告が主で、運行経路に対する報告はあまりない。



安心安全の通学を

このほか、空き家登録が増えない現状について質問し、「課題に対する具体的な取り組みは検討中である」との答弁がありました。

観光振興の目標は

町長 適切な時期に適切な
目標を掲げたい



【門脇】外国人観光客にアピールする本町の魅力を提示できているか。
【町長】パンフレットの作成や案内看板の多言語化などにより、基礎的な環境づくりに努めてきた。

【町長】世界中で見ると、山も海もあるところはあがるが、そこに歴史的、文化的なものは、大山にしかない。強みをもっと前面に出していきたい。
【門脇】観光振興に一緒に頑張っていきたい。

【町長】世界の中で見ると、山も海もあるところはあがるが、そこに歴史的、文化的なものは、大山にしかない。強みをもっと前面に出していきたい。
【町長】観光振興に一緒に頑張っていきたい。

【門脇】本町の魅力を深掘りして、発信していくアイデアは。
【町長】周遊できる環境づくりが大事だ。
【門脇】1番の目標に来るのか、2番3番かによって、集客の数は違う。
これなら1番だという取り組みを本気にならなくては。



観光需要の復活に期待

通学補助を 町外通学中学生にも

町長 総合的な支援で
対応している



【大森】子育て支援策の一つ「高校等通学定期券購入補助」制度は、町外の中学校に通学している生徒がいるのに、対象になっていない。
早急に制度改善する必要がある。
中学生を対象にしない理由は何か。
【町長】町外中学校への通学の判断はそれぞれの判断である。
私立・県立の中学校ではスクールバスも運行している。
【大森】さまざまな理由があって町外の中学校に通学している。
納得がいかない。
【町長】町内中学生に

【大森】子育て支援という目的からすれば、中学生も対象にすべきではないか。
【町長】給食費の補助など総合的な支援で対応している。

ほかに、ごみ問題の基本的なあり方について、国の「プラスチック資源循環促進法」と町策定の「ごみ処理基本計画」、西部広域行政策定の「ごみ処理施設整備基本構想」の整合性について質問しました。



中学生にも通学補助を

空き家の問題に工夫を

町長 取り組み 検討を進める



【西本】空き家が増えている。本質的な問題をどう認識しているか。解決に向けての行動をとっているか。

【町長】空き家問題は相続のこと、耐用年数の経過、維持管理費用、さまざまな要素がある。今後、取り組み検討を進めていく考えた。

【西本】今の実態が把握できているか。

【町長】それに見合った事業ができていないのか。

【町長】空き家件数は、国の調査では平成30年には5万7000件であると把握している。

【西本】国での調査は統計としての抽出数であ



空き家バンクで売買成立

る。正確な空き家件数の把握を町として行わないか。

【町長】確かに正確な数とは言い難い。実感の湧く数字がとれないか検討していきたい。

【西本】空き家バンクに登録されない原因として、空き家発掘事業の周知不足や家財の整理がある。

【町長】確かに正確な数とは言い難い。実感が湧く数字がとれないか検討していきたい。

【西本】集落や自主組織にもっと周知をし、片付け委託は考えてみる価値はあると思う。

本町の防災対策は

町長 自主防災組織の 充実をはかる



【吉原】大雨への警戒が必要な季節となったが、日ごろの備えと避難時の対応は。

【町長】全戸に配布している防災マップや町ホームページを通じて周知をはかっている。

【町長】集落や自主組織が主体となり、要支援者への対応など、話し合う必要もある。

【吉原】避難情報が分かりにくいことや、自主防災組織の活性化が問題ではないか。

【町長】今後、自主防災組織の活動は、地域自主組織を中心とした活動を視野に入れて行く必要がある。



日頃の訓練が大切

情報のレベル区分は周知をしっかりとる。

【吉原】要支援者への対応が不十分であり事前登録制度の周知不足や、民生委員のなり手不足が問題ではないか。

【町長】事前登録制度の周知は充実させていく。

民生委員との連携は必要不可欠であり現状の課題などの聞き取りをし、充実をはかる。

町民が誇れる 芝ブランドを

教育長 町内産の芝を 活用し整備する



【近藤】本町は農業が盛んな町だが、芝も全国有数の産地である。本町の芝生産の現状と課題、また、生産量、生産額などの状況は。

【町長】鳥取県の芝生産は、茨城県に次ぐ全国2位で、本町では139戸、375haで生産されている。

現在では生産額など横ばいで、出荷作業の労力不足、原油高騰による肥料・資材への影響などが課題である。

【近藤】生産振興のために、どのような支援を行っているか。

【町長】県の芝生産振興対策事業を活用し支



大山は芝王国鳥取の中心

援していく。

【近藤】小中学校グラウンドの芝生は、町内産芝を活用し、生産者や保護者を始め町民が誇れるようなものに整備してもらいたい。

【教育長】町内産の芝を活用し整備していく。

このほか、木料や下坪・西坪の海水浴環境について質問し、西坪展望駐車場付近にトイレ整備を検討するとの回答がありました。

婚活・祝い金の 支援について

町長 必要に応じて 対応したい



【島田】県の支援する婚活支援えんトリーで、本町の令和3年度の会員数は。

【町長】男性19人、女性3人である。

【島田】本町では、民間企業団体に支援を行う考えはないか。

【町長】県の実施する婚活支援制度は、非営利団体が行う婚活イベントなどの実施経費を支援している。

【島田】民間企業と連携することにより成果がでないか。

【町長】自治体でできること、できる限り、民間でやること、行政でやることなど、さま

ざまな取り組みが進んでいる。

本町として、今後も続けていきたいと思う。

【島田】ほかの自治体では条例として結婚サポート祝い金支給条例があるが、本町

ではできないか。

【町長】本町でも、何か補助金を出すとかが補助金を出すと同時に、補助要綱をつくり進めて永続的に取り組むべき制度などあれば条例化なども望ましいと考えている。



町内の結婚式場

オーガニック給食を 検討しないか

町長 安定供給できれば
検討したい



【豊】特定栽培、有機栽培の商品に特化した販売所を設置しないか。
【町長】大山恵みの里公社が、販売を促進する方針だ。
【豊】農林水産省が提唱する、オーガニックビレッジの宣言をしないか。
【町長】今後、大山恵みの里公社と連携する中で、取り組みをされる農業者、事業者などの体制を整えば検討していきたい。
【豊】子どもたちの食の安全を考え、オーガニック給食へ段階的に検討していかないか。
【町長】有機農業の生



注目の高まる自然栽培

このほか「町民に対して食糧備蓄を促しているか」との質問に、「促している」と答弁がありました。「戦争など有事への対応は」という問いには「国民保護計画に記載をしている」との答弁でした。

小中学校 教育の向上は

町長 きめ細かな指導で
学力向上をはかる



【岡田】令和4年度から、県内市町村に先駆けて、段階的に30人学級を導入した。
【教育長】指導主事が各学校を訪問し、授業改善点を示し、教職員の授業力向上を目指している。小中連携で授業改善に取り組み、中学校学力全国平均以上の結果に表れている。



30人学級できめ細かな指導

このほか、高齢者福祉の一層の向上や支援の質問をし、保健事業と介護予防の一体的実施が必要との認識や、認知症になっても地域で安心して暮らせる取り組みを進めるとの答弁がありました。

肥料高騰対策は

町長 国・県と連携する



【大原】原油価格の高止まりと、ロシアによるウクライナ侵略や円安などで、資材や燃料価格が上昇している。町としての支援は、
【町長】単町の支援は限られているので、今後は国や県に支援を要請する。
【大原】白ネギやブロッコリー・水稲など肥料を多く利用する農家を中心に、来春の作付に影響が出るのでは。
【町長】どんな支援ができるか検討したい。
【大原】短期的には価格補填だが、中長期的には堆肥による耕畜連携である。化学肥料の



肥料代がかさむ作物

このほか防災対策として、災害時要支援者の確認更新状況や女性目線の避難所開設状況、ヘリポートの発着場所指定の状況などを質問しました。

基本計画を業者へ 丸投げはやめよ

町長 丸投げではない



【小谷】御来屋地区の海の拠点整備について、基本計画づくりを外部へ任せずに、役場職員がつくるべきではないのか。
【町長】調査分析など専門的なサポートができる人が必要だ。
【小谷】専門的業務だけ部分的に依頼すればよい。
計画づくりを丸投げしては内部の職員が育たない。
【町長】計画づくりを丸投げしてお願いをするということではなくて、計画をつくるのは、あくまで検討委員会だ。
【小谷】美質ボランティア



町民が嬉しい海の拠点とは

アの検討委員による年4回の会議でどのように本格的な検討ができるのか。どうせ外部の委託業者任せになるのではないか。
観光客だけでなく、町民が通いたくなる施設をつくるには、役場職員が主体となっ

動画はQRコードからどうぞ



討論会

アフターコロナを見据え徹底討論



主題は、アフターコロナを見据えた大山町活性化です。

総務常任委員会は移住施策で空き家問題を考える、教育民生常任委員会は地域共生社会への実現への取り組み、経済建設常任委員会はアフターコロナを見据えた海と山の観光戦略と題して発表を行い、活発な議員間討論が行われました。

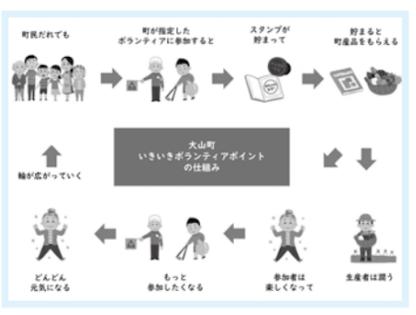
本討論会を経て、より具体性ある政策提言へ結びつけていきます。

地域共生社会の実現への取り組み

教育民生常任委員会

制度や分野の縦割りや支え手や、受け手の関係を超えて、人と人、人と資源がつながる地域社会を創造し、**コミュニティ意識の醸成**につなげる。

町民の社会参加や地域貢献を促し、高齢者自身の介護予防や社会的孤立の防止をはかることが可能な、**大山町いきいきボランティアポイント**の導入を提案する。



杉谷議員 ボランティアというものは、お金儲けのためではない。交通費などあってもよいと思うがどうか。また、子どもたちへの参加意識の醸成は。

小谷議員 報酬などについては、仕事とボランティアの線引きを明確にする必要がある。制度設計で検討したい。

吉原議員 子どもたちとの関わりは児童ボランティアなどを通じて、親子や高齢者との接点をつくりたい。

大森議員 具体的にどのような活動を対象に考えているか。

小谷議員 学童ボランティアや海岸清掃などを考えている。

大原議員 窓口となる課はどこか。また、自主組織との関係は。

森本議員 活動などさまざまな広がりがある予想され、検討課題だ。

門脇議員 ボランティアという安価な労働力を、使った事業を行っているとは誤解されやすい。もう少し血の通った仕組みを検討できないか。

小谷議員 自身の活動が、社会や町の役に立つことを対象と考えている。可能性はさまざまある。例えば、健診を受けるであったり、図書を借りて学びを深めることで地域のためになるかもしれない。

豊議員 地域通貨の導入をボランティアポイント制度に特化した形で考えられないか。

小谷議員 今後議論していければいいと思う。

移住施策で空き家問題を考える

総務常任委員会

アフターコロナを見据え、地方移住のニーズが高まることが期待される。売買中心とした空き家マッチングとして、ウェブサイトの充実を提案する。

一つ目は、**移住ポータルサイトの充実**。
二つ目は、**空き家物件の見える化**だ。
情報がより見えるようにして、興味を持ってもらえる形を提案する。



アフターコロナを見据えた海と山の観光戦略

経済建設常任委員会

本町には、食や文化財などの観光資源があり、**PR不足**が否めない。日の目が当たりにくかった本町の観光資源の活用が**サイクルツーリズム**を通じて、行われることを期待し、日本の神々にゆかりが深いので、**神話、逸話を観光に盛り込む**ことを提案する。

ほかの観光地にはない深みが生まれるのではないか。



吉原議員 サイクルツーリズムと、歴史的資源をどのように結びつける考えか。

豊議員 歴史を深掘りした内容を、看板などと設置して、サイクルツーリズムの機会にあわせてマッピングすることが必要と考える。

小谷議員 観光戦略として、なぜ大山町でサイクリングなのか。それは一体どんなお客さんを想定しているのか。

豊議員 高低差があっても移動が楽な、電動自転車を導入するというのも一つの手ではないか。

西本議員 サーフスポットなどが集まる場所を結び、誰もが行きたくなくなる観光地にしていくべきだと思うが。

豊議員 そういったところを結びのがこの構想だ。

島田議員 歴史を伝え続けてきた地元の人々の思いを発信するために、他の自治体にはない深みをどのようにしていくのか。

豊議員 本町には桃太郎の父親である孝霊天皇の逸話が多く残り、日本人のアイデンティティを育てる歴史教育にもつながる。

野口議員 アクティビティを考えたりすることは、本町も以前から取り組んでいることだ。今回新しいことがない違う戦略を委員会として考えてほしい。

大杖議員 史跡なども組み合わせながら充実させていく段階だ。観光客がまた来たいなと思える取り組みを進めたい。

町民の声を町政に

『議員と語る会』から



4月26日から28日の3日間、名和・中山・大山の3会場で開催しました。
新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの開催でした。各会場でいただいたご意見ご要望は、6月定例議会の各委員会で調査しましたので報告いたします。

大山会場

大山口駅の魅力度アップを。
観光協会大山支部と連携して推進・検討していく。(観光課)

電動マウンテンバイクの活用は。
レンタル開始に向け検証事業を実施する。(観光課)

企業誘致でUターンの推進を。
さまざまな業種の誘致に取り組む。(企画課)

空き家改修補助金は。
家財処分助成など、拡大検討中である。(企画課)

語る会の町民要望を町長に問う

再犯防止推進協議会の設立を他町に先駆けてやってほしい。

町長 本町の再犯防止対策は、保護司を中心に取り組みを進めています。
今後、保護司等と協議会の設置などについて協議し検討したいと思います。

子育て世帯支援の予算が目立つが、高齢者支援にも力を入れてほしい。子育て予算が多いのは寂しい。頑張ってきた世代・高齢者が住みやすいまちでないといけない。

町長 大山町の政策立案は大山町総合計画を基に行なっています。その中でも喫緊の課題は、人口減少対策だと認識しています。総合計画の中で人口減少対策として雇用の確保や子育て環境の整備などを掲げておりますので、それらの施策を進めているところです。
なお、総合計画では、年を重ねても楽しく幸せに暮らせる環境づくりも掲げており、歳を重ねられた方々が幸せに暮していけるような施策についても以前から積極的に取り組んでおります。今後もさらに充実させるように取り組みを進めます。

中山会場

ふれあい倶楽部トイレの改修はユニバーサルデザインで。関係者の意見を聞き改修内容を検討する。(地籍調査課)

名和グリーンセンターや名和診療所の案内看板がなく、わかりにくい。今後検討する。(建設課)

大山カレッジ生徒数減の対策を。広報などで幅広く募集する。(社会教育課)

名和会場

地元農産物の大規模直売所を作って人を呼び込まないか。既存の直売所の利用を。(農林水産課)

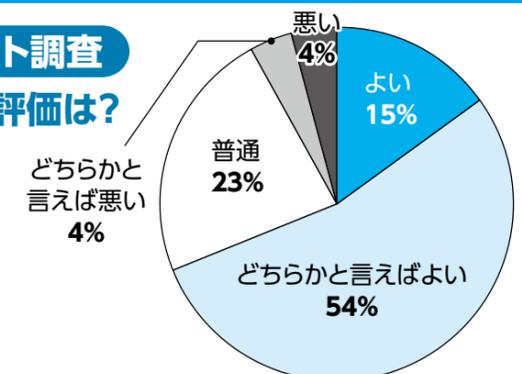
大山町の水のおいしさをPRしてほしい。現在、考えていない。(水道課)

みなさんからいただいた質問事項は、全て担当課に回答をいただいています。
ここに掲載できなかった質問事項につきましては、大山町議会のホームページに掲載していますので、お手数ですがご確認ください。
次回は9月定例議会後の10月末頃に開催を予定しております。町政から身近な話題まで、お気軽にご参加ください。

アンケート結果

- 参加者37人(前回24人)**
- 中山地区 11人 (前回7人)
 - 名和地区 4人 (前回15人)
 - 大山地区22人 (前回13人)

アンケート調査 語る会の評価は?



臨時会

4月臨時会

(4月22日)

条例改正6件、小中学校情報機器追加整備事業、補正予算、教育委員の任命がそれぞれ1件上程され、全て可決した。

補正予算 質疑

宿泊応援事業

〔大森議員〕 期間延長の考えは。〔観光課長〕 閑散期の支援事業である。延長は考えていない。〔西本議員〕 宿泊事業者や利用者に対してPRの弱さを感じる。〔観光課長〕 関係者と相談し周知に努めたい。

5月臨時会

(5月24日)

新型コロナウイルスワクチン4回目接種に関係する経費の補正予算1件が上程され可決した。

〔池田議員〕 一次産業にもつなげる支援政策にしないか。〔観光課長〕 支援事業の要件としてはつけていない。

強風被害復旧対策事業

〔近藤議員〕 観光事業者、商業者への支援への取り組みは。〔観光課長〕 強風に対する補助メニューはないが、経営について具体的な声があれば協議、検討をしたい。

お知らせ News

第5次議会改革調査特別委員会の設置

より活発で開かれた議会にしていくため、議会改革調査特別委員会を立ち上げました。

前回の第4次議会改革調査特別委員会では、議員定数、議員報酬などが議論されたほか、タブレットの導入や事務事業評価の取り組みにつながりました。

今回は、吉原委員長、西本副委員長を中心にさらなる改革を進めていきます。



委員長 吉原美智恵議員



副委員長 西本憲人議員

視察受け入れ

智頭町議会改革調査特別委員会

期間……令和4年4月25日(月)
視察内容……タブレット導入について

訓子府町議会

期間……令和4年6月23日(木)
視察内容……議会改革、議会活性化の取り組み

議員派遣

スマートシティ AiCT (アイクト)

目的……先進事例を学ぶため
派遣場所……会津若松市
期間……令和4年6月27日(月)~28日(火)
派遣議員……森本議員

令和4年度第2回おもと学級

目的……大山公民館主催による「議員と話そう」出席のため
派遣場所……大山公民館
期間……令和4年7月5日(火)
派遣議員……大杖議員、森本議員、小谷議員、島田議員

コラム

議員の仕事ってなにしとるだ?

Q 『議員と語る会』って今でもやっているの? 何を語るの?

A 再開しました。
コロナでしばらく休止していましたが、様子を見ながら少しずつ始めています。
今年の5月は**従来通りの3地区での開催**をしました。
昨年11月の語る会はもっと**地域の声を聞きたく、集落単位**で回る必要性を感じ、要望いただいた5集落に出向いて開催しています。
今年の秋も集落に訪問する予定です。(関連24,25ページ)

大山町議会は春と秋に定期的に『議員と語る会』を開催しています。各地域を回り、住民さんからの声を聞かせてもらい、町政に生かしていくこととしています。ご希望の集落・団体は議会事務局 0859-54-5213 にお問合せください。



おきばんだ



足立 亜耶佳
(さざんか台団地)

誰もが 楽しめる 環境の 公園

子育てが始まって早8年が経ちました。大山町は自然豊かで住みやすく、充実した子育て支援を受けながら子育てができていくことに感謝しています。中山地区では、ふるさとフォーラムの遊具が新しくなり我が子も楽し

きる公園の環境は少ないように感じる。幼児から小学生までみんなが年齢に合った遊具で遊ぶことができるような場所作りをしていただけたら嬉しく思います。私の個人的な思いではありませんし、場所や管理などの問題もあると思いますが、子どもたちが日々の生活の中で思いっきり体を動かして遊んだり、子ども同士の関わりなどさまざまな経験をしながら元気のびのびと育っていくしてほしいという願いもありますので、ご検討をよろしくお願いたします。



小畑 洋子
(所子)

自転車も 活用した まちづくりも

初夏の爽やかな風の中、銀輪を光らせて走る数台の自転車は、近くの工場で働くベトナム人研修生らしい自然に恵まれた私の故郷を多くの知人友人達に見てもらいたい。長いコロナ禍と自粛の時間が終る兆しが見え始めた。

内向きになっていた心を開く時が近い。すっかり減ってしまった交流人口を増やすため自転車に乗りたい。駅にレンタル自転車の拠点を作り、来訪者が乗り捨てできるシステムが作れないだろうか。

かつてヨーロッパの鉄道には自転車持ち込み可の車両があり、ツーリングの若者たちが多く利用していた。自転車に乗れない人のために駅にはタクシー会社直通の電話が欲しい。世界に誇れる自然の中でおもてなしの心が育っていくだろう。暖かい笑顔と共に。



薩摩 大基
(御来屋3区)

未来の 住みやすい 町も 今から

生まれてから24年間、ずっと御来屋で暮らしています。今は介護士として高齢者のお世話をしています。仕事をしながら気づいたことですが、世代を問わず様々な人と交流できる場所が足りないことでは。

昔はもっと、近所の人達が交流しながら生活していたのに高齢者が増えて家に閉じこもりがちになっている。このままだと一人暮らしの人に気づくことも、手助けすることもできない。その為に老後を安心して過ごすための福祉施設が増えて欲しいです。

それと、みんなが楽しめる御来屋街道を活かしたイベントの開催。高齢者の食事や出前と歩いて買い物に行けるお店。高齢者が家にこもらず、外出できる場所があれば人とのコミュニケーションや周りからの目配りもできます。私の年齢での希望は娯楽施設(カラオケホール・遊園地)などあれば若者の集う場所になります。今後住みやすい町になることを願っています。

みんなの遊び場 木料海岸

あとがき

今回も議会だよりをお読みいただき、ありがとうございました。毎号、みなさんに読んでいただけますように、改善しておりますが、今号は特に、特集ページを多くして、デザインも刷新しました。

また、定例会内の議論も、より議論が深まるように、討論会の進行も大幅に変更し、アフターコロナを見据えた本町の活性化が話し合われました。

政治・議会というのは、難しい感じがして、とっつきにくいですが、みなさんの生活に直結しております。

この議会だよりを通じてみなさんの生活が変わるきっかけになれば嬉しく思います。

豊

発行責任者	米本 隆記
編集	豊
広報常任委員会	
委員長	池田 幸恵
副委員長	西本 憲人
委員	大原 広巳
委員	近藤 大介
委員	森本 貴之
委員	島田 一恵
委員	森本 貴之
委員	小谷 英介